

## 《Lesson 4》 接続詞

接続詞とは、and や because といった「単語と単語」や「文と文」をつなぐ時に使われる単語です。今回は if・when・that・命令文+ and/or について学んでいきます。

### (1) if ~ = もし~なら (仮定法)

〈肯定文・否定文〉

(a) **If A, B** → もし**A** なら、**B** (通常**A** の後にカンマ (,) を打つ)

<例> **If you don't like math, you should not take that class.**

(もしあなたが数学を好きでないなら、あの授業を取るべきではないです)

(b) **A if B** → **A**、もし**B** なら

<例> **You should not take that class if you don't like math.**

(あなたは、あの授業を取るべきではないです、もし数学を好きではないのなら)

\* (b) は (a) のように訳される場合もある。

〈疑問文〉

(c) **If A, 疑問文B** → もし**A** なら、**疑問文B** (通常**A** の後にカンマ (,) を打つ)

<例> **If it rains tomorrow, where should we practice soccer?**

(もし明日雨が降ったら、どこで私たちはサッカーの練習をするべきですか?)

(d) **疑問文A if B** → **疑問文A**、もし**B** なら

<例> **Where should we practice soccer if it rains tomorrow?**

(どこで私たちはサッカーの練習をするべきですか、もし明日雨が降ったら)

\* (d) は (c) のように訳される場合もある。

### 【ポイント！】

#### (1) if に続く文では、「未来」のことでも現在形を使う

if を使って仮定する（条件を言う）場合、未来のことであっても基本的に現在形を使う。

(a) **If it rains tomorrow, we will not practice baseball.**

(明日雨が降ったら、私たちは野球の練習をしない予定です)

<If it will rain tomorrow, we will not practice baseball. = ×>

(b) **We won't go to China if we are busy next week.**

(私たちは中国には行かないでしょう。私たちが来週忙しいのであれば)

<We won't go to China if we will be busy next week. = ×>

#### (2) If A, B. の形で B で未来を表す場合は、be going to ではなく原則 will が使われる

「もし~なら、~でしょう」と言う場合、「~でしょう」の部分はwill が基本的に使われる。

(a) **If he comes tomorrow, she will be happy.**

(もし彼が明日来たら、彼女は喜ぶでしょう)

(b) **We will not have the soccer game if it snows.**

(私たちにはサッカーの試合がないでしょう。もし雪が降ったら)

## (2) when ~ = ~の時

〈肯定文・否定文〉

- (a) **When A, B → A** の時、**B** ※通常A の後にカンマ (,) を打つ

〈例〉 **When I was ten years old, I didn't like vegetables.**

(私が 10 歳だった時、私は野菜が好きではありませんでした)

- (b) **A when B → A, B** の時

〈例〉 **I didn't like vegetables when I was ten years old.**

(私は野菜が好きではありませんでした、私が10 歳だった時)

\* (b) は (a) のように訳される場合もある。

〈疑問文〉

- (c) **When A, 疑問文B → A** の時、**疑問文B** 通常A の後にカンマ (,) を打つ

〈例〉 **When you were in high school, what were you doing?**

(あなたが高校にいた時、あなたは何をしていましたか)

- (d) **疑問文A when B → 疑問文A, B** の時

〈例〉 **What were you doing when you were in high school?**

(あなたは何をしていましたか、あなたが高校にいた時)

\* (d) は (c) のように訳される場合もある。

### ポイント! 「～したら」「～した時」でも使うのは現在形の時もある

「もし、あなたが宿題を終わらせたら、あなたは後でしないで済みます」や「彼女が電話をしてきた時に、私が尋ねます」といった文章は、一見過去形を使うように見えますが文章は未来のことをさしているため、過去形は使われません。この文章がどういう状況で使われているのかを想像するのがポイントとなります!

- If you finish your homework now, you don't have to do it later.

(もし、あなたが宿題を終わらせたら、あなたは後でしないで済みます)

- I will ask her when she calls me.

(彼女が電話をしてきた時に、私が尋ねます)

## (3) that ~ = ~ということ、～だと

〈肯定文・否定文〉

- (a) **A that B → B** ということをA (A とB を入れ替える)

〈例〉 **She is glad that she passed the test.**

(彼女がテストに合格したことを彼女は嬉しく思っています)

**He knows that Taro is not my brother.**

(タロウは私のお兄さんではないということを彼は知っています)

〈疑問文〉

(b) 疑問文 **A that B** → **B** ということを疑問文 **A** (**A** と **B** を入れ替える)

〈例〉 Is she glad that she passed the test?

(彼女がテストに合格したことを彼女は喜んでいるのですか)

Does he know that Taro is not my brother?

(タロウは私のお兄さんではないということを彼は知っているのですか)

よく使われる **A that B**

- I know that B = B だと私は知っている (私はB だと知っている)
  - I think that B = B だと私は思う (私はB だと思ふ)
  - I hope that B = B だと私は望む (私はB だと望む)
  - I remember that B = B だと私は覚えている (私はB だと覚えている)
  - I believe that B = B だと私は信じている (私はB だと信じている)
  - I am sorry that B = B でごめんなさい
  - I am glad that B = B を私は嬉しく思う (私はB を嬉しく思う)
- B に私はほっとしている (私はBにほっとしている)

### ポイント! 「～ということ」の **that** は省略可

今回登場する「～ということ」という意味の **that** は省略することが可能。

- I know (that) this train is moving slowly.  
(私はこの電車がゆっくり動いていることを知っています)
- I am glad (that) you won the game.  
(あなたが試合に勝ったことを私は嬉しく思います)

### (4) 命令文 + **and/or** ～ = …しなさい、そうすれば～ / そうでないと～

(a) 命令文 **A, and B** → Aしなさい、そうすれば B

〈例〉 Finish your homework, **and** you will be fine.

(宿題を終わらせなさい、そうすればあなたは大丈夫でしょう)

\*If ～を使ってほとんど同じ意味を表すことができる。

〈例〉 If you finish your homework, you will be fine.

(b) 命令文 **A, or B** → Aしなさい、そうでないと B

〈例〉 Take that train, **or** you will be late.

(あの電車に乗りなさい、そうでないとあなたは遅れるでしょう)

\*If ～not (否定文では If～) を使ってほとんど同じ意味を表すことができる。

〈例〉 If you don't take this train, you will be late.

ポイント！ifの時同様「命令文 + and / or ～」でも、未来のことは will

ifの時同様「命令文+and / or ～」の時も、未来のことを表す際は、be going to ではなく will が基本的に使われる。

- (a) Finish your homework, and you **will** be fine.
- (b) Take that train, or you **will** be late.

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。